

(4) 対処行動の違い

学生・生徒に比べて社会人では「ほとんど解決しなかった」割合が 9.7 ポイント高い。
 また、社会人になると「どうせ何も変わらないから」何もしなかった人が約半数にのぼる
 (51.3%)。

